

問

花輪線利用促進の観点から、市職員の出張時に花輪線を利用するよう指示を出してはいいかがか。

答

出張時の交通手段については、経済的かつ合理的な経路の選択を原則としている。



特殊詐欺への対応について

問

本市における被害防止の取り組みは。

答

特殊詐欺等の犯罪は、鹿角警察署を中心に対応が進められており、市では消費生活相談の一環として取り組みを行っている。消費生活センターの

前講座において、インターネットによる消費トラブルと合わせて注意喚起を行っている。また、特殊詐欺被害と思われる相談があった場合は、鹿角警察署への相談につなげている。

問

市民やその子供が犯罪に関与しないよう、どのように対策を進めていくのか。

答

出前講座の実施や、各種イベント等を通じた啓発用チラシの配付、ホームページやメール配信サービスを活用した周知、啓発活動を行っている。

学校現場においては、SNSについての危険性の確認や、トラブルを防止するための指導等を行っている。また、市内の高校生を対象に特殊詐欺を含む消費者教育を実施しているほか、二十歳のつどいの案内に啓発用パンフレットを同封し、注意喚起を行っている。

質問した項目

■特殊詐欺への対応について ■「103万円の壁」見直しによる本市への影響について ■聴覚障害者への行政窓口での支援について ■JR花輪線存続への支援について ■保育等に関する申請の電子化について



録画配信はこちらから

館花 一仁 議員（鹿真会・公明）

質問時間 45分

問

小中学校のエアコン未設置の特別教室に早急に空調環境を整備する必要があるのでは。現在はトイレ洋式化などに取り組んでおり、今後児童生徒のより良い教育環境の整備に向けて優先順位を検討し、計画的に進めていく。

答

実に努めていく。



教育環境について

問

県の小中学校の不登校者数が過去最高となった。一人も取り残すことのない体制づくりのために、居場所や学びの場の確保・スクールカウンセラー等の増員など、多種多様な整備が求められているが、市の考えは。

答

関係機関と連携し、現在策定中の「こども計画」に搭載される各種支援施策を推進しながら、子供たちを支える相談体制の確保や家庭への働きかけなど、一層の支援充

問

歯科医院の減少が便性も低下し、歯科医の負担も急速に増え、悲痛の声が聞かれる。他の医療体制維持への支援と同様に、スタッフの確保・新規開業などへの計画的な支援を急速に進める必要があるのでは。

答

高齢者を中心に疾病を予防し、生活の質を保つ上で歯と口腔の健康が重要である。第7次総合計画後期基本計画を策定する中で、医療機関開設資金支援事業制度の補助対象に歯科診療所の開設や医療継承の追加を検討するなど取り組んでいく。

質問した項目

■教育環境について ■医療環境について ■企業支援について



録画配信はこちらから

栗山 尚記 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分